



株式会社アイ・エス・アイソフトウェア

Boxを活用し短期間で電子帳簿保存法に対応 ファイルの保存からメタデータの付与まで一連の業務を自動化

株式会社アイ・エス・アイソフトウェアは、「繋ぐ、繋がる」ITで高生産性を実現するソリューションをトータルで提供するIT企業。同社では、日々発生する受発注関連書類を紙で管理していたが、2022年に改正された電子帳簿保存法（以下、電帳法）の施行に伴い、電子管理が急務となった。新たに専用ソリューションを導入して対応することも検討したが、書類管理を一元化するために既に利用しているコンテンツクラウド「Box」を活用できないか模索することに。顧問税理士に運用方法を相談した上で、アクセス権限を制御することによって真実性の確保を、メタデータ機能の活用で検索要件を満たして可視性の確保を実現することに成功。さらに、ASTERIA Warpを活用してBoxと業務システムを連携させることで、ファイルの保存やメタデータ管理などの手作業を自動化、一連の業務効率化や人的ミスの削減にもつながった。

課題・目的

- 電帳法の改正により、国税関係書類の電子保存が義務化され、紙で管理していた請求書などを電子管理することが急務となった
- 既存システムには法要件に必要な検索機能や改ざん防止機能が備わっていない
- 社内コンテンツ管理はすべてBoxで行っているため、請求書も含めた一元管理が求められた

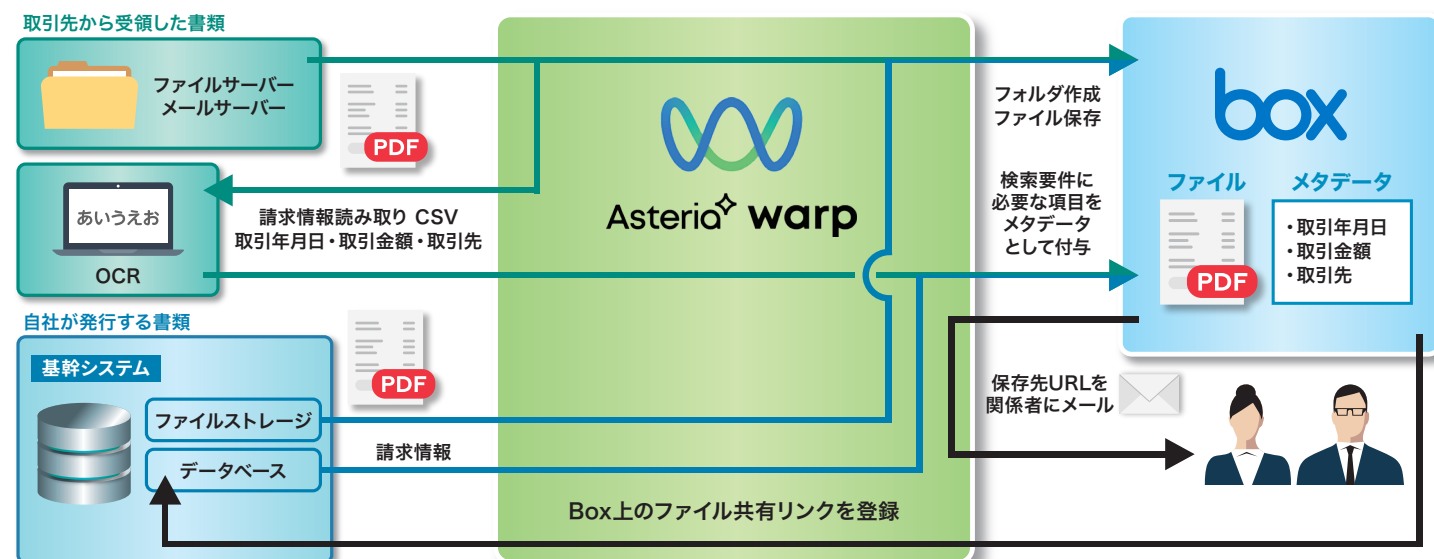
選定ポイント

- 自社開発した“Boxアダプター”を使用し、フォルダ作成やファイル保存、メタデータ付与などの豊富な機能をAPIの仕様を意識せず直感的に開発可能
- 新規システム投資をすることなく電帳法に対応できるため、業務プロセスの変更が生じず、スムーズな移行が可能
- BoxアダプターはBox社エコソリューション制度の認定を受けており、APIコール数の制限を気にすることなく利用可能

効果

- Boxに保存する際にメタデータを自動付与することで電帳法対応に必要な検索要件をクリア
- 基幹システム、Box、OCRソフトなどと連携し、紙の転記作業がゼロに。さらにファイルの保存先URLを関係者へ通知することが可能になり業務効率率が大幅に向上
- 運用開始まで1ヶ月という高速開発を実現。ノーコードで容易に開発できるため、連携システムや対象書類の追加・変更にも迅速に対応

システム概要



ユーザーの一言



電帳法対応の文書管理システム等を新たに導入するのではなく、元々利用していたBoxを利用した仕組みで、運用を極力変えずに導入できたのが一番のポイントです。

株式会社アイ・エス・アイソフトウェア 取締役 都 一成 様

User Profile



所在地：大阪市中央区本町4-6-17 IS本町ビル6階
 会社概要：「繋ぐ、繋がる」ITで高生産性を実現するソリューションをトータルで提供するIT企業

業種：情報通信業
 URL：https://www.isi-grp.co.jp/